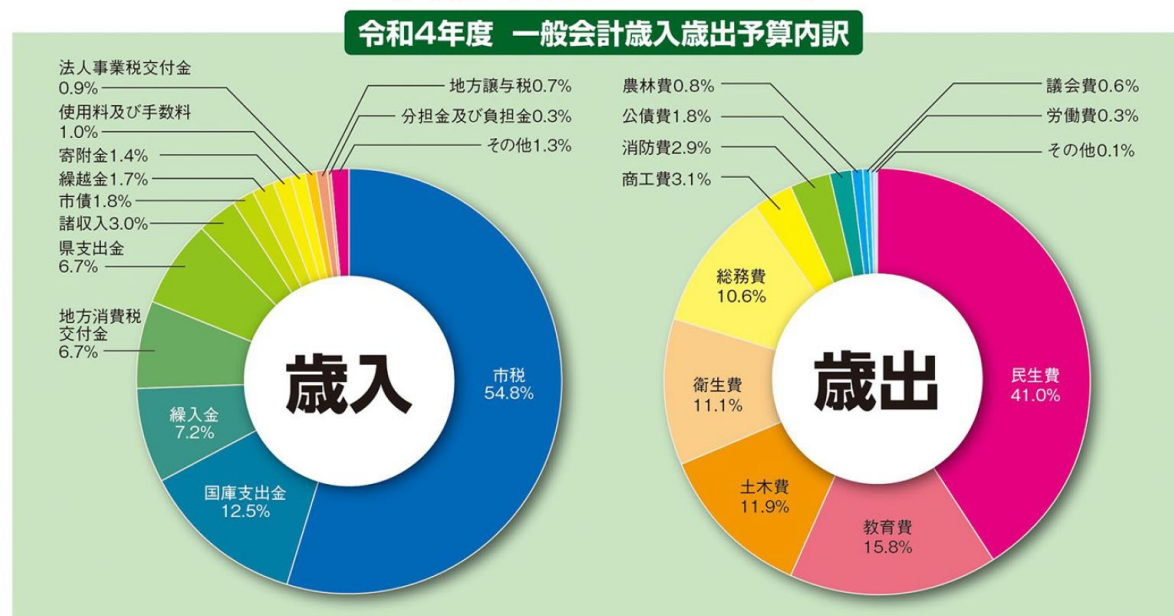


予算決算委員会（総務・福祉厚生・文教建設分科会）審査報告

令和4年度 一般会計 予算額 584億7500万円
(対前年度比 △1.0%)



結果 賛成多数 可決

歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、企業収益は回復傾向にあり、法人市民税の増収を見込んでおり対前年度比で増収となっている。

歳出は、公共施設の老朽化に伴う施設の改修経費や少子高齢化の進展などによる社会保障関連経費が増加しているほか、GIGAスクール構想など国の政策に伴う支出の増加があり、市の財政を圧迫している。

総務分科会

議案名 令和4年度小牧市一般会計予算

●ハラスメントのない職場づくり

事業名 ハラスメント相談窓口業務委託料

分科会での質疑

Q 業者選定の進捗状況と相談窓口の概要は。

- A 令和4年度の早期運用を目指して事務を進めており、令和4年2月にプロポーザル方式での業者選定を行った。
相談窓口は、祝日、年末年始を除く土日を含めて午前10時から午後9時までの受付をする電話相談と年中無休で24時間受付可能となるインターネットを利用した相談窓口の設置を予定している。
電話相談では、公認心理士、精神保健福祉士などの資格を有する心理カウンセラーが市職員からの相談に対応する。



● I C T 技術を活用して効果的に課題を解決

事業名 課題提案型実証事業委託料

分科会での質疑

Q 前年度当初予算に比べて約 3 倍の予算が計上されている理由は。

A 課題提案型実証事業とは、市が抱える地域課題や行政課題について、民間事業者から I C T 等の技術を活用した課題解決の提案を募り、効果が高いと考える製品・サービス等を利用した実証実験を実施するものであり、令和 3 年度に事業テーマを選定した結果、48 個の課題が集まった。

令和 4 年度は、「ごみ分別案内の便利化」「小牧山周辺のカラス害の軽減」「支所の窓口業務のサービス向上」「すべての外国人を取り残さない情報発信」の 4 つのテーマについて、課題解決策を持つ民間事業者とのマッチングを行い実証実験を行うため事業費が増額となったものである。



●実践的な防災訓練で災害に備える

事業名 防災訓練用機材借上料

分科会での質疑

Q 令和4年度市総合防災訓練はどのような訓練を想定しているか。

A 毎年8月下旬に実施していたが、参加者の熱中症などのリスクやゲリラ豪雨、台風など自然災害により訓練が縮小あるいは中止となるリスクを回避するため、開催時期を秋に変更する（令和4年10月30日）。
地域協議会等が主体となり実施している小学校区単位での防災訓練と同時に開催することで避難所となる各小学校との連携訓練等、市全域での訓練を計画している。中学校に災害対策本部を仮設置し、避難所となる小学校との防災行政無線を使用した無線交信により、受入れ人数の把握や支援物資等の要請など、実際に避難所を開設した際に災害対策本部の連携が必要となる訓練を計画している。



●市民農園で生産緑地を保全

事業名 生産緑地内市民農園開設支援事業補助金

分科会での質疑

Q 制度を創設した理由は。

A 農地は、雨水の湛水機能や気温上昇の緩和、美しい景観形成など多面的な機能を有しているが、農業従事者の高齢化や後継者不足により減少している。市街化区域内にある生産緑地も同様であり、対策をしなければ農地に身近なところで触れる機会が激減することとなることから、生産緑地の保全及び市民の農業に対する理解を深める場を身近に提供するため、所有者等が生産緑地内で市民農園を整備する場合に財政的に支援する補助制度を新設したもの。

Q どのような農地が対象となるか。

A 生産緑地内で整備する市民農園で一定の面積以上の農地とする予定である。区画割としては、現在、市が貸し出ししている市民菜園と同程度の広さを一区画として整備するものを対象とする予定である。



●NHK 大河ドラマとタイアップした観光推進

事業名 観光事業委託料

分科会での質疑

Q 大河ドラマを絡めた観光推進事業の実施時期は。

A 令和5年1月からのNHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に先立ち、令和4年度は市内外に対し、小牧・長久手の戦いや徳川家康、尾張徳川家と小牧山との関連などを知っていただくことに重点を置いた事業や観光協会と協力して観光客の受入れ体制の強化に関する事業を実施する予定である。

NHKなどの関係機関とも協議しており、今後は大河ドラマとタイアップした事業を展開するとともに放送終了後も引き続き、小牧山に家康の遺構や徳川家とも関係する創垂館など、また、織田信長の近世城郭のルーツとあわせて観光資源である小牧山の価値を発信し、誘客につなげるプロモーションを実施していく。



福祉厚生分科会

議案名 令和3年度小牧市一般会計補正予算（第15号）

●小児（5歳～11歳）へのワクチン接種

事業名 新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料

分科会での質疑

Q 5歳から11歳のワクチンは、ファイザー社製の小児用ワクチンを使用すると聞いているが、1回目の接種時点では11歳で2回目の接種の時に12歳になっていたら大人用ワクチンを使用するのか。

A 1回目の接種時に11歳だったお子様が2回目の接種時12歳を迎えている場合は、2回目接種にも1回目と同様に小児用ワクチンを使用することとなる。



議案名 令和4年度小牧市一般会計予算

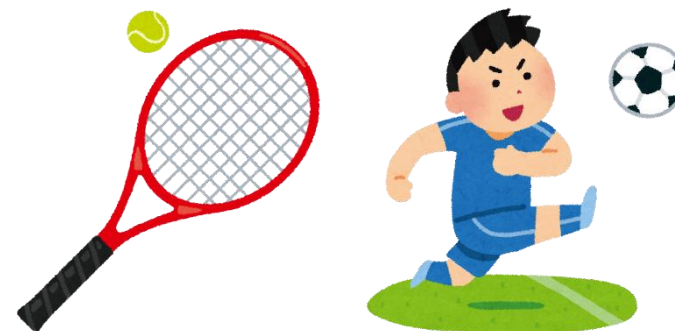
●スポーツ活動の場を拡充

事業名 さかき運動場施設整備事業

分科会での質疑

Q 整備内容は。

A 市民の健康づくりから競技スポーツまで多様なニーズに対応するため、さかき運動場テニスコートの南側にある駐車場の西側にフットサル兼テニスコートを整備する。フットサルとテニス及びソフトテニスでの利用をはじめ、レクリエーションスポーツなどにも利用できるようスポーツ活動の場の充実を図る。令和4年度に実施設計を行った後、令和5年度に工事、令和6年度からの利用開始を目指す。



●住み慣れた地域で安心して暮らすために

事業名 高齢者タクシー料金助成事業委託料

分科会での質疑

Q 委託料（930万円）の算出根拠は。

A 要介護1以上の方を対象に、行き先を限定しない一般タクシーの発乗り料金分を助成する利用券を年間24枚交付するもので令和4年10月を開始予定時期とする。対象者を約3,170人、発乗り料金を700円、利用率を35%と想定し、初年度は10月から開始のため12枚配布する積算とした。



事業名 （仮称）第3老人福祉センター施設整備事業

分科会での質疑

Q 工事の進捗状況は。

A 令和3年度に用地取得及び建物西側部分の造成工事が完了した。令和3年10月に着手した建物の建築工事、機械設備工事及び電気設備工事は、工程どおり進んでいる。令和4年度は引き続き建築工事等を進め、建物南側部分の駐車場整備やセンター内の備品配備など供用開始に向けた準備を進める。



文教建設分科会

議案名 令和3年度小牧市一般会計補正予算（第14号）

●学習環境の整備

事業名 小学校施設営繕事業

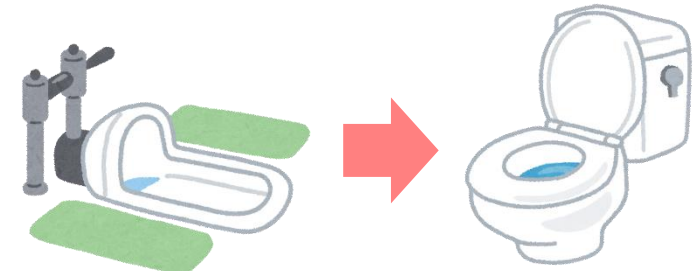
分科会での質疑

Q 補正増額（約3億9000万円）の事業内容は。

A 国の補正予算による国庫補助金の追加交付が見込まれるため、令和4年度に実施する予定であった小学校8校（小牧小学校、村中小学校、三ツ渕小学校、篠岡小学校、北里小学校、小牧原小学校、桃ヶ丘小学校、大城小学校）の特別教室の空調設置工事と小学校2校（陶小学校、大城小学校）のトイレ改修工事を前倒しで実施する。

Q 小中学校のトイレの洋式化率は。

A 小学校は66.5%、中学校は74.7%である。



議案名 令和4年度小牧市一般会計予算

●小牧の歴史と小牧山の魅力を発信

事業名 史跡小牧山整備工事費

分科会での質疑

Q 工事費の増額理由は。

A 史跡小牧山の整備は、山頂の歴史館周辺を5つの工区に分けて、令和3年度から5か年をかけ、これまでの発掘調査の成果に基づき織田信長が築いた石垣などの復元工事を進めていく。令和3年度は歴史館北側の整備、令和4年度は歴史館西側の整備を行う予定であり、その工事費が2,600万円の増額となっている。また、旧市役所本庁舎跡地の東側にあった旧管理棟跡地には、徳川家康が「小牧・長久手の戦い」の際に築いた土塁や堀の復元整備を予定しており、その工事費が9,100万円の増額となっている。



事業名 歴史館展示改装委託料・小牧山城史跡情報館展示改装委託料

分科会での質疑

Q 改装内容と今後のスケジュールは。

A 歴史館及び小牧山城史跡情報館（「れきしるこまき」）の展示改装は、令和3年度より実施している。歴史館では、現在の歴史館民俗資料の展示を一新し、展望室からの眺望を活かして織田信長が築いた城下町や「小牧・長久手の戦い」の際に築かれた砦跡、周辺の城郭との距離感を体験できる展示にしていきたいと考えている。また、歴史館の外観的特徴を活かし、近年の発掘調査で明らかとなった戦国時代の小牧山城の姿や歴史などに特化した展示に改装する予定である。「れきしるこまき」は、現在の展示内容に加えて「小牧・長久手の戦い」の解説のコンテンツを加える改装を行う予定である。改装のスケジュールは、令和4年前半に実施設計を行い、秋以降から現地で展示改装して令和5年3月の完了を予定している。

